

社会人の決意新たに



平成29年度 豊丘村成人式



第 683 号
 発行人 ● 豊丘村公民館 館長 原 国人
 編集人 ● 長野県下伊那郡 豊丘村公民館報 編集委員会
 0265-35-9066
 印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村
 (1月1日現在 ※外国人を含む)
 男 3,350人
 女 3,412人
 総人口 6,762人
 世帯数 2,139戸

年頭のあいさつ

新年を迎え

村長 下平 喜隆



村民の皆様、明けましておめでとうございます。道の駅の進捗状況についてお知らせします。道の駅「南信州とよおかマルシェ」は、国土交通省「道の駅」として十一月十七日に県下では四十六番目の道の駅として正式登録されました。今後はカーナビや道路地図にも順次掲載されていきます。本体工事は足場も取れ全体像がはつきり見えるようになり、予定どおり順調に進んでいます。

道の駅南信州とよおかマルシェを運営する法人「株式会社豊かな丘」は十二月八日付で法人登記を完了しました。続いて、今月下旬より村民・企業の皆様か

ら出資を募集してまいります。個人の方の出資は所得控除も受けられます。多くの皆様のご協力をお願いします。また、道の駅で働く主要スタッフも決まり、四月下旬のオープンに向けた準備を着実に進めてまいります。昭和三十年に神稲村と河野村が合併し豊丘村が生まれました。奇しくも平成が終わろうとしている平成三十年に、豊丘村として初めての行政主導による農業の六次産業化と商業の拠点施設を融合させた道の駅「南信州とよおかマルシェ」が誕生します。



次の時代に明るく挑戦する豊丘の子らへ

教育長 寺沢 宜勝

「豊丘の子」も豊丘の皆で育てる。心は二年目を迎えた「コミュニティスクール」の場で遺憾なく発揮されており、学校と地域の交流から生まれる成果が見えて来ている。中学三年生向けに昨年七月から始まった公設学習塾「豊丘みらい

しろのある伊那谷です。今から未来を見据えながら、伝統と最先端が響きあうフロンティア、南信州の実現をにらんで、豊丘村の伊那谷の将来に向けて、力を合わせて頑張りましょう。今年もよろしくお願い申し上げます。

「はつらつ」で出会った中学生の心やさしい声掛けに感動された利用者の声が、校長先生あてに届くという嬉しい出来事もありました。さて、そんな子ども達が

「子ども達を村あげて育ててゆくことに他ならない」と思っています。コミュニティスクールを含めて、あらゆる場面で開かれた明るい関係づくりに邁進してゆきます。

明けまして、おめでとうございます。村民の皆様まには新年を迎えられ、お気持ちを新たにされていることと存じます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。さて、天皇皇后両陛下が一昨年、行幸啓で飯田下伊那を訪ねられた際に、飯田市復興のシンボル、りんご並木をご覧になられたことは私たちの記憶に鮮明です。両陛下はここをご覧になり、その年の誕生日のお言葉で、飯田の感想について

次のように語られています。「昭和二十年代と云う戦後間もないその時期に、災害復興を機に、前より更に良いものを作るといって、近年

各地に自然災害が多い昨今、より強靱な地域づくりを行う際の合言葉として、最近、いろいろなところで使われるようになってい

過去に罪を犯した人々を孤立させることなく地域社会で支援していくことが彼らの「心の復興」につながることを説きました。

また、リニアや三遠南信自動車道開通を見据えた明日の村づくりや、南信州の地域づくりを語りあう時がきています。自治会や分館、親しい仲間、或いは家族でも、伝統を重んじつつ進取の精神豊かな住民性は、それを可能にすると思うので

牛の出産監視に特殊センサーを使うなど。重労働から解放され、経験の少ない人でも容易に従事することが可能となり、コストも大幅に低減できた事例を紹介する番組を見た。他にも最新技術の応用は多そうだ。四月には『とよおかマルシェ』がオープンする。是非成功して欲しい。新年を機に、楽しく明るい夢を描き、それに向けて目標を立て、行動を起こしましょう。

(桐崎長一)



「ビルド・バック・ベター」が既に実行されていたことを知りました。この言葉は、より良い復興という意味ですが、全国

「ビルド・バック・ベター」を広く解釈すれば、私たち村民ひとり一人の心の持ちようにも関わってきます。それは村づくりの中にも必

新年というのは気の引き締まる格別な言葉だ。しかし、年を重ねるにつれてその思いが変わってきた。子供の頃は純粋に希望、喜び、楽しみが強かったが、現在では人生の経験を重ねたこともあり、つい後ろ向きな話題が思い浮かぶ。少子高齢化、介護社会、エネルギー、構築物の寿命など一朝一夕には解決できない難問題で、将来への不安が消えない。それ故か、現在が良ければそれで良いという利那主義の風潮も目立つ。

(桐崎長一)

平成二十九年豊丘村成人式

目標に向かって一歩ずつ前進を

平成二十九年豊丘村成人式が一月三日の午前十時から、交流学習センターゆめあ

りての大ホールで行なわれました。

今年度の該当者は平成二十四年度に豊丘中学校を卒業した方と、村内在住の同年齢

の方あわせて七十三名で、このうち成人式には五十三名が出席しました。

この日はお天気も良く、新成人の一步を踏み出すにふさわしい、気持ちの良い日に

なりました。成人式会場は、あでやかな晴れ着やスーツに身を包んだ新成人で、終始

華やかな雰囲気になりました。

式では、来賓や恩師から成人を祝福する言葉が贈られ、新成人を代表して実行委員

の小林杏奈さんが力強い宣誓を行いました。また、実行委員長の福澤裕二さんは、「こ

うして成人式を迎えることができたのは両親をはじめ、恩師、地域の皆様方の支えが

あったから。これからは、社会人としての自覚を持ち、地域や社会に貢献していき

たい」と、謝辞を述べました。

式の後には実行委員会主催の意見発表会が行われ、代表して四名が、それぞれの立

場で二十歳の決意を発表しました。



意見発表会

それぞれの立場で決意を発表

人との繋がりを大切に

小園 菅沼真光
の存在です。学生として学業に励んでいる人もい

れば、既に社会人として働いている人もいます。進む道も置かれていて環境もそれぞれ異なりますが、より一層大人としての自覚を持って行動して行かなければならないと実感していま

私は現在豊丘を離れ、県内の大学に進学し、小学校教師と中高の保健体育教師を目指して勉学に励んでいます。陸上競技も続けており、陸上と勉強の毎日です。高校までは陸上にしか目がなく、勉強が疎かになっていました。今では夢も見つかり、練習時間をも勉強時間にあてたいと思うようになり、私にとって何年経ってもやはり文武両道は難しいですが、それぞれの夢に向かって突き進

ここにいる仲間と青春を共に過ごし、自然に囲まれた学び舎を卒業して早五年。私達は成人となり、晴れてこの日を迎えることができ

ました。久々に見る顔、久々に聞く声。変わったのはその大人びた雰囲気。いい意味で相変わらずな皆とこうして再会することができて嬉しいです。豊丘村で出会えた友達は、今後も大切にしていきたいかけがえ

社会人となり成人となった

後 市沢佑太

こんにちは。中学を卒業し、久しぶりに会う仲間たち。外見が大人っぽくなった仲間を見ると、中学での思い出が頭に浮かびます。

夢を叶えるべく、勉学に励む学生や、一足先に社会人となり、会社に勤め働いている人がおり、皆がそれ

ぞれの人生を歩んでいます。私は高校を卒業とともに、就職し社会人として働いて

います。会社で働き始め、感じたことは、責任感とコミュニケーションの大切

です。社会に出るまでは親や先生に甘えて生活して

いました。しかし、社会人となってからは、何かあったときに自分自身が責任を負うことは勿論、社会人二年目となり、さらに成人とな

った今、改めて自分の言動一つ一つに責任を持たなければならぬと実感しました。

また、今までは年の近い人と会話することが多かったですが、社会に出たことで年上の方たちとお話することが多くなりました。最初はどのようなことをお話ししたらよいのかと、戸惑うことがありましたが、些細なことでもまずは喋りかける

事。そして、話していくなかで相手の事を知っていくことが、その相手との関係を深めていく上で大切な事なのだ分かりました。

大人になっていくうえで忘れずに持ち続けていきたいことがあります。それは「挑戦する気持ち」です。大人になっても前に進んでいくことができません。中学、高校でよく言われたことのある、チャレンジ精神、挑戦し続けることを心に刻み、どんなことにも失敗を恐れずにこれからの人生を楽しんでいきたいと思

います。め」という諺があります。人と人が出会うのは、いつか必ず別れる時が来るということであり、会うことは別れることの始まりである、という意味です。その学校に進学したからこそ出会えた恩師や友達。その職場に就職したからこそ出会えた上司や同僚。そして、豊丘村で生まれたからこそ出会うことのできた、ここに

いる仲間もそうです。私達の周りにはたくさんの方がいますが、いつか別れは来ます。しかしそのいつか来る別れに後悔しないくらい、その時、その場で、偶然とも、必然とも繋がった、様々

な人との数々の出会いを、私達は大切にしていかなければなりません。成人となった今だからこそ、家族を含め、今までもお世話になった周囲の人に感謝し、今度出会うであろう、また新たな人との繋がりに胸をわくわくさせながら生きていきたいと思

うと思っています。今後は、この豊丘で出会い共に育ってきた仲間を大切に、仲間のそれぞれの道での活躍を願い、また私自身も人との出会いに幸せを感じ、日々邁進していきたくと思

います。来月号も意見発表文を紹介し

ます。

また、今までは年の近い人と会話することが多

かったですが、社会に出たことで年上の方たちとお話することが多くなりました。最初はどのようなことをお話ししたらよいのかと、戸惑うことがありましたが、些細なことでもまずは喋りかける

事。そして、話していくなかで相手の事を知っていくことが、その相手との関係を深めていく上で大切な事なのだ分かりました。

大人になっていくうえで忘れずに持ち続けていきたいことがあります。それは「挑戦する気持ち」です。大人になっても前に進んでいくことができません。中学、高校でよく言われたことのある、チャレンジ精神、挑戦し続けることを心に刻み、どんなことにも失敗を恐れずにこれからの人生を楽しんでいきたいと思

います。め」という諺があります。人と人が出会うのは、いつか必ず別れる時が来るということであり、会うことは別れることの始まりである、という意味です。その学校に進学したからこそ出会えた恩師や友達。その職場に就職したからこそ出会えた上司や同僚。そして、豊丘村で生まれたからこそ出会うことのできた、ここに

いる仲間もそうです。私達の周りにはたくさんの方がいますが、いつか別れは来ます。しかしそのいつか来る別れに後悔しないくらい、その時、その場で、偶然とも、必然とも繋がった、様々



集合写真も笑顔でピース



また、今までは年の近い人と会話することが多

かったですが、社会に出たことで年上の方たちとお話することが多くなりました。最初はどのようなことをお話ししたらよいのかと、戸惑うことがありましたが、些細なことでもまずは喋りかける

事。そして、話していくなかで相手の事を知っていくことが、その相手との関係を深めていく上で大切な事なのだ分かりました。

大人になっていくうえで忘れずに持ち続けていきたいことがあります。それは「挑戦する気持ち」です。大人になっても前に進んでいくことができません。中学、高校でよく言われたことのある、チャレンジ精神、挑戦し続けることを心に刻み、どんなことにも失敗を恐れずにこれからの人生を楽しんでいきたいと思

います。め」という諺があります。人と人が出会うのは、いつか必ず別れる時が来るということであり、会うことは別れることの始まりである、という意味です。その学校に進学したからこそ出会えた恩師や友達。その職場に就職したからこそ出会えた上司や同僚。そして、豊丘村で生まれたからこそ出会うことのできた、ここに

いる仲間もそうです。私達の周りにはたくさんの方がいますが、いつか別れは来ます。しかしそのいつか来る別れに後悔しないくらい、その時、その場で、偶然とも、必然とも繋がった、様々

な人との数々の出会いを、私達は大切にしていかなければなりません。成人となった今だからこそ、家族を含め、今までもお世話になった周囲の人に感謝し、今度出会うであろう、また新たな人との繋がりに胸をわくわくさせながら生きていきたいと思

うと思っています。今後は、この豊丘で出会い共に育ってきた仲間を大切に、仲間のそれぞれの道での活躍を願い、また私自身も人との出会いに幸せを感じ、日々邁進していきたくと思

います。来月号も意見発表文を紹介し

ます。

また、今までは年の近い人と会話することが多

かったですが、社会に出たことで年上の方たちとお話することが多くなりました。最初はどのようなことをお話ししたらよいのかと、戸惑うことがありましたが、些細なことでもまずは喋りかける

事。そして、話していくなかで相手の事を知っていくことが、その相手との関係を深めていく上で大切な事なのだ分かりました。

大人になっていくうえで忘れずに持ち続けていきたいことがあります。それは「挑戦する気持ち」です。大人になっても前に進んでいくことができません。中学、高校でよく言われたことのある、チャレンジ精神、挑戦し続けることを心に刻み、どんなことにも失敗を恐れずにこれからの人生を楽しんでいきたいと思

います。め」という諺があります。人と人が出会うのは、いつか必ず別れる時が来るということであり、会うことは別れることの始まりである、という意味です。その学校に進学したからこそ出会えた恩師や友達。その職場に就職したからこそ出会えた上司や同僚。そして、豊丘村で生まれたからこそ出会うことのできた、ここに

いる仲間もそうです。私達の周りにはたくさんの方がいますが、いつか別れは来ます。しかしそのいつか来る別れに後悔しないくらい、その時、その場で、偶然とも、必然とも繋がった、様々

な人との数々の出会いを、私達は大切にしていかなければなりません。成人となった今だからこそ、家族を含め、今までもお世話になった周囲の人に感謝し、今度出会うであろう、また新たな人との繋がりに胸をわくわくさせながら生きていきたいと思

うと思っています。今後は、この豊丘で出会い共に育ってきた仲間を大切に、仲間のそれぞれの道での活躍を願い、また私自身も人との出会いに幸せを感じ、日々邁進していきたくと思

います。来月号も意見発表文を紹介し

ます。

また、今までは年の近い人と会話することが多

かったですが、社会に出たことで年上の方たちとお話することが多くなりました。最初はどのようなことをお話ししたらよいのかと、戸惑うことがありましたが、些細なことでもまずは喋りかける

シリーズ「元気な高齢者」④ 楽天的かつ大胆さで乗り越えた多くの困難

片桐まさ子さん 九十一歳

上市場在住



入院したことはない。余暇の楽しみの一

まさ子さんは大正十五年、現在の松川IC近くにある農家で、七人きょうだいの長女として生まれた。未

子とは年齢差が大きく、面倒見の良い姉さんだった。坂道を小一時間ほどかけて通った学校で高等科まで学んだ。修学旅行で関東地方を見聞したことは、懐かしい思い出となっている。卒業後は近所の人と一緒に愛知県の紡績工場に就職したが、戦争の影響で途中で伊勢に移り、空襲が激しくな

ったため暇をとって、実家にたまため暇をとって、実家に戻り農業の手伝いを行った。合計三年間の勤めであった。昭和二十五年に知人の世話により二歳上の彦一さんと結婚した。両貴い境遇であったので、彦一さんも

気兼ね感があり、またまさ子さんにとっては実家が一人の大家族であったので結婚後の小家族は寂しさを拭い切れず、生活面の不安もあった。彦一さんは建設会社で定年まで勤めた。昼間は時間があり、家には農地があったため、まさ子さんはほとんど一人で農作業を行った。仲間と田植機を購入し作業の効率化を図った。研究熱心なところは、今でも自家用の野菜作りや若い人達への栽培指導に繋がっている。三六災害では、被害に遭わずに済んだのは本当に幸運であった。

十年前にご主人がなくなり、それ以降一人暮らしであったが、名古屋にいた娘さん夫婦が家に戻ってくれたため現在は三人暮らしである。家族と一緒に食卓を囲むのはせいぜい週に一回だけなので、その貴重な時間を大切にしている。息子さんは塩尻に居を構えたため頻繁にはこちらに来れず、一抹の寂しさがある。健康には自信があり、足取りは確かで、聴力、視力とも問題なく、今だから長期

旅行にも興味があり農協郵便局関係で、ハワイを始め国内のあちこちを旅したが、彦一さんが出歩くことを好まなかったこともあり、友達と行くことが多かった。きょうだい全員が健在で、今でも毎年きょうだい会を開けるのは大きな喜びであり、皆が楽しみにしている。端から見れば困難と思えることも苦勞と思わず、些細なことを気にせず、楽天的でひょうきんな所があることも健康でこれが一因かなとも言われた。一方で『家の光』に付属している家計簿、日記欄を欠かさず記載していることなど、几帳面さを兼ね備えておられると感じた。

文責 桐崎 長一 宮下 正弘

2018年 紙上年賀状 新年の抱負

ワンだふるな一年に!



うにしたいです。そして立てた目標をしっかり意識実行して充実した一年になるようにがんばりたいです。



12歳 吉澤澄春(上村)
新年あけましておめでとうございます。今年ががんばりたいことが二つあります。

ぼくは、今年ががんばりたいことが二つあります。一つ目は、テストの見直しです。ぼくは、テストの時に見直しをせずに先生に出したら「見直しをちゃんとしなさい」と言われました。なので今年の三学期は、テストの見直しをしつかりして百点をとりたいです。

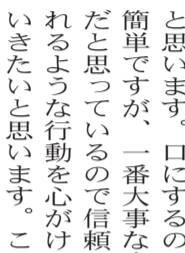
今年の目標



12歳 平あさみ(中部二)
あけましておめでとうございます。

私の今年の目標は、あいさつを大きな声でだれにでもすること、中学生になるので、勉強と部活にがんばって取り組むことです。特に勉強は今まで以上に進むスピードが早く、量も多いと思うのでしっかりとついていけるようにしたいと思えます。四月から始まる新しい生活に備え、これまでの自分の生活を見直して直すべきところは直し、気持ちの良いスタートが切れるようにしたいです。

すので、今年は今まで以上に、先を見すえた行動と、自分の考えや意志を持ち、それを曲げないようにしていきたいと思えます。



最後に大事にしていきたいと思えます。口にするのは簡単ですが、一番大事な事だと思っているの信頼されるような行動を心がけていきたいと思えます。こんな自分ですが、今年も、よろしくお祈りします。

経験値



36歳 大倉 翔(笹久保)
明けましておめでとうございます。村の公民館より年男を迎えて一年の抱負を頼られ、改めて考えますと、仕事と子育てでしよ

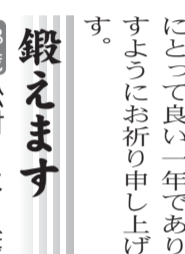
うか。仕事では家業である農業を手伝い始めて十年以上が経ちますが、まだまだ経験不足で非効率であったり失敗したりを繰り返しております。



24歳 原 信広(林原)
明けましておめでとうございます。

自分を見つめなおす年。興味や仕事でも、教えてもらって準備してもらって自分ができるように準備ができたと感じています。

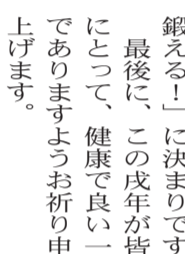
そして残りの長い人生を楽しく過ごすためにも多くの成功と失敗を積み重ねる事で人生の経験値を高め、レベルアップ出来る年になれたらと思えます。



48歳 松村さより(筏)
鍛えます

明けましておめでとうございます。四度目の年女を迎えたこの正月、腰痛に苦しみました。何が原因なのかわかりません。寝ても立っても座ってもとにかく痛み、腰がくの字に曲がって、歩くのも大変でした。元旦から座りきりで、三日間、駅伝を観たのが悪かったのではい

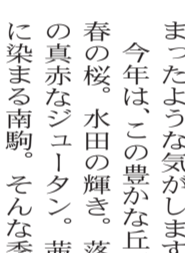
うか。とんだ戌年のスタートになってしまいました。私の今年の目標は「体を鍛える！」に決まりました。



60歳 木下とも子(柿外土)
心豊かに

あけましておめでとうございます。光陰矢の如しと

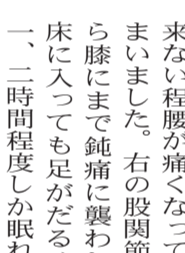
申しますが、気がつけば私も五回目の年女を迎えました。この地に生まれ育ちあたり前のように感じてきたこの風景。日々の雑務に追われ、この地の美しさに気づく事なく過ごして来てしま



72歳 壬生 一(小園)
健康にありがとう、感謝

明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願いいたします。健康は誰もが願うところですが、昨年十月、急に股関節の痛みを感じ、翌日寝返りも出来ない程腰が痛くなってしま

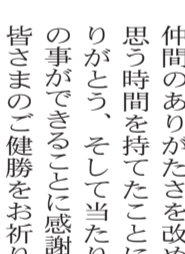
いました。右の股関節から膝にまで鈍痛に襲われ、床に入っても足がだるく、一、二時間程度しか眠れない日が十五日くらい続きました。そんな自分の落ちている気が持ちに「大丈夫、すぐに良くなるぞ頑張らな



72歳 壬生 一(小園)
健康にありがとう、感謝

と家内のことば。眠れない中、無理に目を閉じると仕事の、会議の、同年の、奉仕活動の仲間の顔が浮かんできて、俺もここで沈没するわけにはいかんあと思

い、早く朝が来ないかと願いながら、じつと我慢する自分が居た事を思い出します。腰部椎間板ヘルニアとの事で、注射、痛み止め薬にて様子をみている状況です。この二ヶ月間で、家族仲間のありがたさを改めて思う時間を持つたことにあ

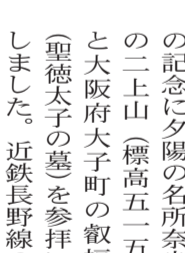


84歳 竹村 耕(中部三)
夕陽の丘に祈る

陽光の新年おめでとうございませう。私は昭和ひと桁生まれの戌年です。母の生涯米寿を目ざしている米作

豊丘の風景。豊丘中学校国語科 町田菜津美

小農家で前庭に陽を浴びます。数年前に喜寿七十七才の記念に夕陽の名所奈良泉の二上山(標高五一五米)と大阪府太子町の叡福寺(聖徳太子の墓を参拝いたしました。近鉄長野線の喜志駅下車。



96歳 福澤英子(北市場一)
九十歳半ばにさしかかり

夕陽の丘二上山は千年以上昔から名所としてその名を全国へ広めています。その歌は「親を想わば夕陽を拜め、親は夕陽の真中に西の空見て南無阿弥陀仏、弥陀は夕陽のその先に」。河岸段丘の名所「豊丘」を夕陽の丘としても名声を高めて頂きたいと思っております。(合掌)

豊丘の風景。豊丘中学校国語科 町田菜津美

近頃の世の中の状況を知る時、あまりにも個人主義的なもの考え方(アメリカ大統領のトランプさん)になり、かつて生活に不自由していた頃の、他人への思いやりの気持ちはどこに...と思つてもあります。ところが、体を過信しついつい働かずに、腰椎を骨折し、いま入院せざるを得ない状態になってしまい、大失敗です。やはり、永い人生、丈夫なことはやはりありません。九十の年代になつたら、自身の健康も省みるべきでした。九十歳代の方々、どうかお体に気をつけてお働きください。



96歳 福澤英子(北市場一)
九十歳半ばにさしかかり

ふり返つてみても、よく今まで元気でこれらしたものと思わずにはいられません。毎日自分なりに有意義にと過ごしてきたのみです。遠い昔を省みるに、太平洋戦争の真只中に結婚したもの、夫の出征、乳飲み児を抱えて迎えた終戦。戦後の食糧難の時代、農業を続けながら夫の退職まで無我夢中のようにした。何も不自由な事のない今の生活にも、満足して過ごしています。

豊丘の風景。豊丘中学校国語科 町田菜津美

信濃毎日新聞 新春俳句コンクール

豊丘中から三名入選

優秀賞を受賞した菅沼心太さんは「ふるさと豊丘村はとても自然豊かです。つばめの鳴き声が山から里の方へと、まるで段丘を降りているように聞こえました。この句から、段丘の広がる豊丘の景色が伝わると嬉し

いです」と、俳句に込めた思いを語ってくれました。審査会からは「ツバメが風を切る音も聞こえてくるようです。夏ツバメと自分を重ねるような中学生の若々しさが伝わってくる。自分の住んでいる所への誇りが感じと願っています。

優秀賞 一年一組 菅沼 心太さん
「夏つばめ 段丘に鳴き 風を切る」

入選 三年二組 筒井 綾菜さん
「ストローの 自在楽しむ ソーダ水」

奨励賞 一年二組 西元 俊樹さん
「スケッチの手元くすぐる 若葉風」

決定 平成29年 村の 五大ニュース

平成29年「あなたが選ぶ村の五大ニュース」に、190名の方にご応募いただきありがとうございました。
開票の結果、館報編集委員会が候補としてあげた15項目の中から、次の5項目が上位に輝きました。

1位 道の駅「南信州とよおかマルシェ」 4月起工式 11月道の駅として正式登録 186票 30年4月のオープンに向けて建設進む



2位 マツタケ不作 飯伊森林組合の受け 入れ量は例年の三割 144票

「道の駅南信州とよおかマルシェ」は、今年四月下旬にオープンします！
道の駅統括支配人 高木 信康

3位 動き出した リア 中央新幹線 131票



堀越松茸観光も予定より早く営業終了



村内で工事用車両通行のための道路改良工事が始まる

4位 農作物収穫期に 相次ぐ台風 風雨の影響で果 樹などに被害 109票

台風十八号・二十一号等の影響で、倒木のほかりんご・柿等に被害が発生



5位 第三十回とよ おかまつり 盛大に 開催される 83票

村内外から多くの参加者とよまつ・ゆめあるてステージともに大盛況



投票者の中から抽選により下記の方が当選しました。

碓部セツ子
田中 静
片桐 洋子
三島 保子
下平 玲子
三島 里子
木下 真水
松岡 照子
宮下 公
宮下 純子
丸山 時子
林 恵美子
北原 昭子

俳句 短歌

上位五項目の的中当選者
市澤 京子(寺垣外)
井坪 智子(城)
酒井 あさこ(北村)
酒井 睦子(林里一)
壬生 守(小園)
※五項目すべての中された方は十四名でした。

〔短歌会 夢あるて〕
葉は枯れど白菊の花楚楚として北風にゆれ今もなお咲く
福澤貴美恵
手の指の長年の朋しもやけは寒さと共に吾に住みつきて
大原真由美
夫逝きて三十年は夢のごと喜び悲しみ生きる糧にし
筒井 恵子
かしこまり竈の前に印むすび稷のあつき湯煮手で払いぬ
松尾ヒサコ
冬日浴び赤くかがやく南天のたわわな房に喜びあふる
松下 泰見



安曇野双体道祖神

きつかけは双体道祖神

今から三十年以上前より撮り始めた石仏だが、始まりは安曇野の双体道祖神であった。着色された石仏に魅了された。そして今では



第9記

道の片隅の石仏は 輩が残した信仰の痕

「村内の石仏めぐり」に参加し、前松川町資料館の酒井先生と共に、石仏の名称や形体の説明を受け、様々なことを学ぶことができたのだ。路端の石仏は元禄の頃よりあり、家長クラスでなければ造られなかった墓石は江戸時代、墓石と石仏は別物と言うことになる。庶民信仰の代表的な石の



千手観音

像は、道中の安全を祈つたり、無病息災のシンボルとして崇められ、苔が着き風化でポロポロになった石に心惹かれたのだが、酒井先

お気に入りの石仏たち

比較的数量の多い弥勒菩薩は、決して歯が痛いのではなく、民衆を救うことをいつも考えておられる姿という。写真は近くの柿畑の中にポツンと置かれている石仏だが、見る角度によつ



夏草に抱かれ、夕陽に染まる弥勒菩薩像

て表情が変わる不思議な石仏である。冬の横殴りの雪といい、柿が熟し供え物になつたり夏草に埋もれる姿など、訪れるたびに心が癒される。今後は村内の石仏を遡った目線で紹介していくことを考えている。

写真と文／宮下正弘

訂正
十二月号「段丘の八行目以下を次のように訂正します。
一残土を村内・源道地区に置く計画は、下流の人々の反対があり地権者の同意が得られず、JR東海によって撤回された。
村リア対策室長および村議会リア対策特別委員長から訂正の要望があり、文言を付け加えるものです。(編集長・壬生雅穂)

〈豊丘川柳クラブ豊柳会〉

▼課題「老」 吉川 燎 選
柿作業柿の重さに老いを知り 福沢 勝美
会話なくあうんで足りる老夫婦 林 桃子
老若で絆の神興負い立つ 安田 喜子
軸吟：老いてなお自説を曲げぬ赤えぼし 福澤 亀人

▼課題「福」 互選
幸福行き終点待てず途中下車 原 美風
福の神今年もつれなく通り過ぎ 久保ひろし
働いて晩酌に酔う至福どき 桃沢 健介

▼自由吟 桃沢健介 選
ひこ孫と握手をかわし老約す 吉川 燎
友の手がことさら温い忘年会 市沢 照子
一党を壊して逃げて次は何 山本 義彦
捨て切れぬ田畑未練の鉄を振る 西元 峯子
軸吟：核ボタン握る二人の困り者